

科目名：介護総合演習Ⅱ - 2

対象クラス(専攻/コース)：2学年 介護福祉学科

単位数：1

担当教員名：福島岳志、佐原かおる、竹中ツネ、上條雅巳

授業形態：講義・演習（全15回）

教材：最新介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 中央法規出版株式会社
※配布資料・スマートフォン・タブレット端末なども活用する。

教員の実務経験：介護保険施設・在宅介護事業所にて介護職（介護福祉士）として10年間経験

授業内容（実務経験を活かした指導内容）：

介護保険施設や在宅介護事業所などの介護現場において、実習生受け入れ・指導などを行い、更に介護教員として学生を実習先へ送り出しを行ってきた経験を活かし、下記の学習目的が達成できるように授業を実施していく。

学習目的 介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し専門職としての態度を養う学習とする。

授業内容 質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義とその方法について理解できるような内容とする。

到達目標：

- (1) 対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護過程を展開できる能力を養う。
- (5) 介護実践における安全を管理するための基礎的な知識・技術を習得する。
- (6) 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養う。

評価方法／基準：

授業態度（出欠席・姿勢・提出物・使用物品の準備など）、報告・発表などの結果を総合的に評価する。（報告・発表 60% 授業態度 40%）

その他、注意事項：

授業を円滑に行うと共に質の高い学習とするために、以下の点について留意すること。

【学習への取り組み】

- ① 毎回の授業前に、授業範囲のページに目を通しておくこと。課題が出た場合は課題を行っておくこと。
- ② 毎回の授業内容を再確認（復習）し、理解を深めておくこと。
- ③ 課題やレポートの提出を指示した場合は、作成し指定期間までに提出すること。

関連する主な検定試験：介護福祉士国家試験

キーワード：残存能力、生活、地域、介護過程、安全管理、観察力・判断力、介護実践、
知識と技術の融合、実践研究

<授業計画>

第1週	実習Ⅱのねらいと実習モデル（テキストP232～242）	講義
第2週	介護総合演習における知識と技術の統合化①（テキストP248～253） ※学生カード記入	講義
第3週	介護総合演習における知識と技術の統合化②（テキストP253～262） ※介護実習目標・書類の作成などの説明も含む	講義
第4週	介護実習目標・書類などの作成練習	講義・演習
第5週	各種書類作成方法・介護過程の展開の確認①	講義・演習
第6週	各種書類作成方法・介護過程の展開の確認②	講義・演習
第7週	各種書類作成方法・介護過程の展開の確認③	講義・演習
第8週	各種書類作成方法・介護過程の展開の確認④	講義・演習
第9週	介護実習振り返り	講義・帰校日
第10週	介護総合演習における介護観の形成（テキストP263～267） 介護実習報告会・お礼状などについての説明	講義・帰校日
第11週	介護実習振り返り	講義・帰校日
第12週	介護実習振り返り	講義・帰校日
第13週	介護実習振り返り（自己評価など）、介護実習報告会準備、お礼状作成	講義・演習
第14週	介護実習報告会	演習
第15週	介護実習報告会	演習

(注釈)

授業計画については、学生の知識の定着・習熟度などにより変更する場合があります。